

平成28年度東京都障害者虐待防止・ 権利擁護研修

平成28年12月15日

社会福祉法人JHC板橋会

地域活動支援センタースペースピア

成瀬由美子

クラブハウスとは？

- クラブハウスとは、仲間同士の自助活動を基本とした「共同体」です。参加者はメンバーと呼ばれ、相互支援のための活動を行います。お互いに助け合い、健康な部分を生かしながら、地域で豊かに生きていくための力を自ら創造していきます。広い世界に旅立つときの港となり、いつでも疲れたときに帰ってくることができる場所です。
- 世界クラブハウス連盟規約に沿って運営します。

クラブハウスの基本的な考え

- 1 診断や障害の程度によって差別されることはありません。
- 2 患者やクライアントではなく、「メンバー」として意味ある人間関係を築きます。
- 3 クラブハウス内での役割分担作業は、メンバーが自己価値感じられる意味ある仕事です。
- 4 仕事に就く準備のできている人、できていない人にも平等に仕事の機会は与えられます。
- 5 過渡的雇用は、通常のフルタイムの仕事につくことを支援するリハビリテーション・プログラムです。

クラブハウスの歴史

～「自分たちはひとりぼっちじゃない」
(WANA)から始まった～

クラブハウスの始まりは、1944年アメリカ ニューヨーク州立病院で退院患者と病棟職員が協同して行っていた自助グループ活動、“We Are Not Alone(WANA)”(「自分たちはひとりぼっちじゃない」)です。WANAは、入院患者の訪問や、退院患者のための住居と職場を提供するサービスを行っていました。その後、WANAを母体として、1948年にニューヨークに世界で初めてファウンテンハウスが設立されました。この年は世界人権宣言が行われた年でもあります。1955年には、ソーシャルワーカーのジョン・ピアード氏を責任者に迎え、今までの自助グループとしての活動から相互支援システムを生み出し、1960年代にはクラブハウスの運営や維持、余暇、教育、雇用、住居をプログラムとして標準化しました。

クラブハウスの歴史

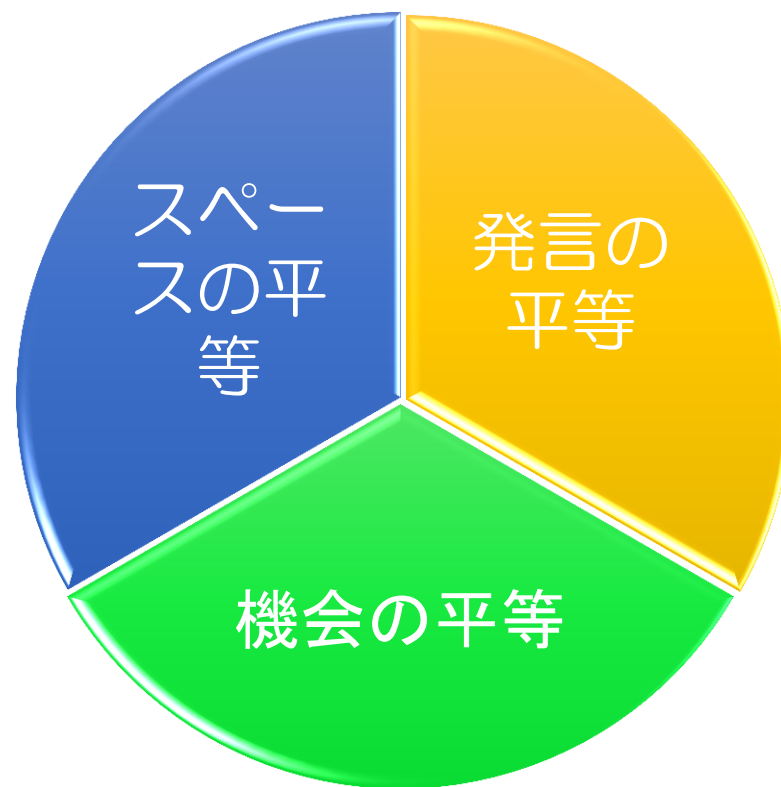
～「自分たちはひとりぼっちじゃない」
(WANA)から始まった～

日本では、1988年、1992年にファウンテンハウス教育部長のロジャー・プロプスト氏が来日、「日本にクラブハウスを」という気運が高まる中、1992年に東京都板橋区の単独補助事業として「クラブハウス サン・マリーナ」が設立されました。1994年には世界クラブハウス開発センター（現在は[Clubhouse International]）が設立され、隔年ごとに世界会議が開催され、世界中のクラブハウスの仲間が交流を深めています。2014年3月現在、日本国内にCI認証のクラブハウスが6カ所、世界では欧米諸国を中心として322カ所に広がっています。

基本原則（メンバーの権利）

- 1 だれでも来ることができます。
- 2 いつでも帰ってくるることができます。
- 3 意味ある人間関係を持ちます。
- 4 意味ある仕事に就きます。

3つの平等



クラブハウスの構造

三層の参加

